

平成 28 年度 岸部第一幼稚園 自己評価結果公表シート

1. 本園の教育目標

たくましく、自立できる子どもに育てよう

- ・心身ともにいきいきした子
- ・意欲的に遊べる子
- ・心ゆたかな子
- ・個性を認めあい、たすけあえる子

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

<p>①努力目標「育てよう！丈夫なからだと強い心～運動遊びをとおして楽しくやる気を引き出す環境や援助を考える」の達成に向けて保育内容の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ちょこっとタイム』を計画的に進め、内容を充実させる。 <p>②努力目標達成に向けて職員の資質向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修（研究保育）の充実、他の様々な研修に参加し、研鑽を重ねる。 <p>③中学校ブロックで幼稚園の取り組みを発信し、連携に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーフ会議、研修会、授業参観などに積極的に参加し、取り組みを充実させる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
隙間時間『ちょこっとタイム』を利用した運動遊びの充実	A	『ちょこっとタイム』を計画的に日々の保育に取り入れ、『運動遊びプログラム』や『幼研』における助言指導や園児指導を通して、環境や指導方法を学び、日々の保育に活かすことができた。そして、体を動かして遊ぶことが好きな子どもの育成に繋がり、やる気や意欲をもって様々な活動に挑戦する姿が見られるようになった。
教員の資質向上	B	様々な研修会や研究保育への積極的な参加、伝達研修の実施による学んだことの共通理解、研究保育における園内研修の実施など、前向きに研鑽を重ね、日々の保育の充実に活かすことができた。
中学校ブロックの中での幼小中連携	B	今年度より中学校ブロックのチーフ会議に園長代理が参加し、幼稚園の情報発信をすることにより、小中のチーフの先生が保育参観に来られたり、研修会の部会で保育の話をしたり、11年間の見通しの中での幼稚園の存在をアピールすることができ、連携の一步に繋がった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価 評価の基準

結果	理由
B	運動遊びの充実・教員の資質向上、中学校ブロックの中での幼小中連携など概ね達成できたと思われるが、さらに研鑽を積み重ね、来年度につなげていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画の検討と作成	今年度の反省や課題を活かしながら、指導計画の検討を行い、職員全員で共通理解を図り、隙間時間の取り組みを様々な活動に活かしながら計画的に考え、指導計画の中に取り入れていく。
特別支援教育の充実	個々の子どもの姿や育ちについて丁寧にとらえ、関係機関との連携や保護者との共通理解を図りながら、より充実した支援体制を推進していく。
中学校ブロックの中での幼小中連携の推進	ブロックの中での様々な研修会や授業参観や会議に積極的に参加し、幼稚園の情報を発信する中で、幼稚園教育についても理解を深められるような取り組みを考える。

◎3.4 の評価結果の表示方法

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分ではない
D:取り組みが不十分である